

令和 6 年度 第 3 回公民館運営審議会 議事概要

日 時：令和 7 年（2025 年）3 月 17 日（月） 19 時 00 分～20 時 30 分

会 場：豊中市立中央公民館 3 階 視聴覚室

出席者：秋山 京子、大里 ルミ子、大濱 浩子、奥村 旅人、十河 秀敏、野村 恭代、
福本 雅一、松山 鮎子、松山 繁樹、渡邊 浩、

事務局：本田 光直（中央公民館長）、松本 貴幸（中央公民館主幹）、山岸 明子（螢池公民館長）、橋本 慶（庄内公民館長）、江川 勉（千里公民館長）、前田 真吾（中央公民館副館長）、守屋 浩一（中央公民館副主幹）

傍聴者：なし

- 案 件
1. 令和 6 年度公民館講座（10 月～ 実施分）実施報告について
 2. 令和 7 年度事業計画・予算について
 3. その他
 - （1）公民分館協議会全体交流会について
 - （2）公民館における社会教育関係団体支援について
 - （3）その他

【資 料】

- 資料 1 令和 6 年度 公民館講座集計表【10 月～ 実施分】
- 資料 2 令和 7 年度 公民館年間事業計画
- 資料 3 令和 7 年度 公民館講座実施にかかる予算
- 資料 4－1 令和 6 年度公民分館協議会全体交流会プログラム
- 資料 4－2 令和 6 年度公民分館協議会全体交流会各ブロックレジュメ
- 資料 5 （仮称）公民館における社会教育関係団体認定要綱（骨子案）

1. 開会

2. 案件

1. 令和 6 年度公民館講座（10 月～ 実施分）実施報告について
＜事務局より資料 1 に基づき説明＞

●螢池公民館の講座「ペアトレ」について。来年度は交流会にすることだが、その場合は、講演はしないのか。

■講師の提案もあり、今年度は 3 回くらい連続で受けてもらった。来年度も同様に、でき

れば3回開催し、2回までは講演会をして3回目で交流会を持てたらと考えている。

●講演形式というか一方向の形式のほうが意外と相互性を生む。年代や主題によって異なるが。このテーマだとどのようになるのか興味があるので、次年度以降に経過を聞きたい。

●5 ページの蛍池公民館の料理クエストについて、社会教育の取り組みの中で地域のボランティアが参加とのことだが、小中学生がどれくらい参加したのか。

■まだ完了しておらず、最終回となる3月26日にこども食堂を実施する予定で、現在募集中である。

●地域につなげるのはすごく良いと思う。ビラを配ってもなかなかボランティアが集まらない。登録制度とか学校区ごとで作ったりして発信していけば良い。講座を通して意識を高めることはぜひ進めてほしい。講座が地域の活動に結びついたら良い。例えば日本語を教える人を育てる講座で受講終了した人を登録したり、農業体験や学習で知識を得た人が地域で活動するなど、そうすることで公民館活動と地域が連携して活性化していくと思う。

●参加率の表記は前からあったのか。非常に見やすく良い。それから謝礼金について、日本語よみかきは各公民館でやっているが、中央公民館は謝礼金を支払っていないが蛍池は支払っている。先生が来たからという事なのだろうが、ボランティアだから支払わなくて良いのか？市役所職員や企業なら無料でも良いが、回数も重なれば交通費もかかる。ボランティアに甘えすぎているのでは。ふたごさんあつまれも、同じような講座を見ると、謝礼金が出ているのと出していないのがある。それとショコラでは、連携事業の謝礼金はどこから出ているのか。

特殊詐欺や防災、くらしの保健室などは、集客がなくてもずっと定期的に続ける価値があると思う。

■先生が来る時と来ない時で違う。ボランティアだけの時は謝礼金の支払いがない。社会教育課・図書館・公民館の連携事業は、社会教育課が予算を取って、配分されている。

■庄内の日本語よみかきは、ボランティアが集まらないので謝礼金を出している。公民学連携では、ショコラを使って何かやりたい人を募集しており、公民館としては場所の提供、広報をしているので、謝礼金は払っていない。また、入場料など実費は徴収可としている。

■千里は、水曜日の夜はボランティアが、仕事が終わってから来るなど、人数が集まらない。また、夜間の時間帯で実施のため、職員の時間外勤務の観点から次年度から土曜日だ

けにする。公民学連携では庄内と同様、場所提供、広報をしているので謝礼金は出していない。

■ふたごさん集まれば、多胎児の保護者のグループと連携していて、自分たちが主体的に参加していくという事であれば謝礼金は支払っていない。公民館主体なら謝礼金が発生する場合もある。予算についてはそれぞれで、役所の中で連携した場合主たる部局が出している。

●5 ページの料理クエスト、参加費 2,500 円は4回通してか。また、講師謝礼は1回 25,000 円×4回分で100,000 円か。

■そうである。

●千里のコラボでシネマが地域連携・地域魅力発信事業に入っているが、どのあたりが地域連携なのか。

■千里中央には以前千里セルシーがあったのだが今は無くなった。映画鑑賞を望む地域住民等の声に基づいたため、地域連携・地域魅力発信事業とした。

●延べ参加人数が少ないので、もう少し努力してほしい。

■図書館が放映権を持っている古い映画が多いためか。

●識字ボランティアについてだが、年代に偏りがあるようで、識字に熱心なその世代が卒業すると事業継続が難しいのではないかと。ボランティアの次世代育成をどうにかしていく必要がある。せめて交通費くらいは出すとか、待遇について、若い世代に伝えていくすべを講座のテーマにしても良いのではないかと。かなり具体的に考えていくべきではないかと。

●庄内ショコラのエクセル講座とワード講座、かたや2,000 円の参加費だがかたや無料なのは何か。それと、Canva 入門講座は2,500 円（500 円×5 人）で、講師謝礼も払っているが、講師のあり方が違うということか。

■参加費は資料代として徴収している。ワード講座は資料をコピーしているため無料である。Canva 講座は公民学連携で学生5 人に来てもらっているので講師謝礼を払っている。

●公民館として地域をつないでもらっている。そこから公民分館へもつながっていけば良

と思うので、今後も情報提供してもらいたい。庄内のヤギ部は除草目的とのことだが、どこを除草しているのか？

■テラスの除草を目的に、昨年度 1 か月間ヤギをレンタルした。

●空港周辺緑地でも、ヤギを飼ったらどうかと言われている。あそこにはキツネがいるらしいがヤギは襲われないか。

■今年度に関しては除草目的というよりはヤギのお世話をしたい学生と地域の方が「ヤギ部」を発足し 1 か月間多世代交流を目的に実施。ヤギのお世話だけではなくふれあいイベントや音楽イベントを開催し地域コミュニティの活性化につながった。

●分館の講座の謝礼金は上限が 8,000 円と決まっている。公民館は上限がないのか。公民館では呼べても分館で呼べない。ある程度基準を定めてもらわないと分館としてはやりにくい。

■基準はある。大学教授が 10,000 円だが、大学連携すると講師以外に助手が何人来るため結構まとまった金額になっている。

●公民館活動をたくさんの講師やボランティアが担ってくれているのは素晴らしいと思う。ボランティアの資質向上のため、人権研修などの研修の実施が必要ではないか。

■語学関係の講座のボランティアには養成講座的な研修を年 1 度実施している。人権研修は毎年実施している。

●防災訓練に参加した人が、自分は小学校より中央公民館が近いのでこちらに逃げた方が近いという人がいたが、それでよいか。中央公民館では避難訓練を行っているのか。

■職員のみだが年 2 回実施している。

■まず開設される避難所は学校であり、中央公民館は状況に応じて避難施設になる。まずは最寄りの学校や会館に行ってもらうことになる。

◇災害の種別によって違うので、良く調べておいた方が良い。

■集計表の項目について必要・不要などご意見はあるか。

●11 ページの千里親子ふれあい広場だが、講師が多くて表が見にくいので、1 行ずつにするとか工夫してほしい。

◇ご意見あれば後日事務局まで連絡してもらいたい。主な意見として、ボランティアへの謝礼金などの待遇、担い手育成が次年度への課題と認識した。

2. 令和 7 年度事業計画・予算について

＜事務局より資料 2、資料 3 に基づき説明＞

◇謝礼金については分館との差を検討してほしい。複数名に支払っている場合、分かるように明記してほしい。

●事業計画にはマチ☆スタが出ているが、今年度の公民館講座集計表には挙がっていないのは何故か。それから、どれくらいの生徒が参加しているのか。

■マチ☆スタは委託事業で実施しているため、講座集計表には挙げていない。令和 5 年度から全中学校・義務教育学校で 8 月から実施している。初年度 640 人くらい、今年度 560 人くらいが参加している。ちなみに、今年度から、学び育ち支援課という他部署で小学校 5、6 年生を対象に学習支援を開始している。

●ぜひ拡張する方向で進めてほしい。8 月からといわず、6 月くらいから始めてほしい。

●千里シネマについて再度聞きたいが、令和 7 年度からシネマの枠組みが健康づくりになっているが、詳しく説明してほしい。

■講座の設定時間が平日昼間であるため、主に高齢者が参加することが多いので健康づくりに入れた。

●せっかくなので、上映後に映画について語り合う場を設けるとか、普通の映画館ではできないような工夫をしてみたらどうか。

■令和 7 年度から予算の組み立てを変えている。マチ☆スタ、学習サポートといった、学校教育に対する支援関連の事業は公民館の事業に残し、その他の公民館の地域連携・地域魅力発信事業は、市長部局の地域連携課事業へ移行して、他部局との連携がよりやりやすくなる

ようにしている。

●大きなお金が動くのでマチ☆スタの結果が気になる。参加人数や参加者の感想などを知りたい。

■マチ☆スタは塾の代わりではなく、家庭学習の支援、家に帰ってしっかり勉強する習慣づけをするために行っており、アンケートでもそのような声が挙がっている。

逆に勉強する習慣がついたらこの事業に来る必要性がなくなってくる。また学校でのタブレットを利用した学習の仕組みなどつながっていけばよいと考えている。チラシ募集の際には、各学校に協力していただいていて、家庭懇談の場でも必要とされる子どもに伝えてもらっている。

◇参加した人の感想などはどこかに載せているのか。

■掲載はしていない。学校へは情報提供している。ホームページなどに挙げても良いと思う。

◇ぜひ検討いただきたい。

●先ほどの公民分館の謝礼金 8,000 円の話だが、相場が上がっているので上限をそろそろ見直してほしい。大学教授の相場が 15,000 円となっている。

その他

(1) 公民分館協議会全体交流会について

＜事務局より資料 4-1、資料 4-2 に基づき説明＞

●今年度は分科会という形をとった。4 ブロックそれぞれ特徴がある。分館長は交流があるが、分館のほかの役員等はなかなか交流の機会がないので、他のブロックとの情報交換を行い、交流を図ることが出来ている。まだまだ課題はたくさんあるが、今後も全体交流会を続けていきたい。回数を重ねてより良いものにしていきたい。

(2) 公民館における社会教育関係団体支援について

＜事務局より資料 5 に基づき説明＞

◇特に意見がないようですが、本件についてももし何かあれば事務局まで連絡いただきたい。

以上